

図書館だより

第2号
令和5年6月21日
黒川高校図書館発行

雨が印象的な小説

梅雨空のすっきりしない天気が続いています。こんな季節におすすめしたいのは、雨が印象的な小説。外から聞こえる雨音が絶好の効果音になり、物語をより深く味わうことができそうです。

『小説 言の葉の庭』

新海誠
KADOKAWA

高校生の孝雄と、年上の雪野。二人を巡るいくつもの出会いと別れが、雨の中で繰り返される。

アニメーションが美しい作品。小説版では登場人物をより深く知ることができます。

『羅生門』

芥川龍之介
新潮社

「或日の暮方の事である。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。」で始まる、11ページ程の短い小説。その中に、不穏な情景描写、下人の心持ちの変化、急転する結末が凝縮されています。



『静かな雨』

宮下奈都
文藝春秋

こよみさんが事故に巻き込まれた。目が覚めた彼女は、今日のことを明日には忘れてしまうようになった。思い出を重ねていけるのは僕だけ。二人で過ごす明るい月の夜に、静かな雨が降る。

『死神の精度』

伊坂幸太郎
文藝春秋

死神の千葉が仕事をする時は、いつも雨。死神の仕事とは、対象者と接触して死を「可」とするか「見送り」とするか見定めること。仕事の合間のミュージックを何よりの楽しみにしながら、千葉は今日も仕事に向かう。

6月は環境月間です



環境省では、環境についてみんなで考え保全に取り組むことを目的として、6月を環境月間と定めています。

環境と言っても幅広いですが、「ゴミ」について考えるなら、お笑い芸人・マシンガンズ滝沢秀一さんの『やっぱり、このゴミは収集できません』(白夜書房,2020年)をおすすめします。ゴミ清掃員として働く滝沢さんが出会う様々なゴミ・人のエピソードに笑いが止まらない!そして、自分もゴミを出す当事者だという自覚と、ゴミを回収してくれる人たちへの感謝が湧き上がってきます。

滝沢さんの『ごみ育 日本一楽しいごみ分別の本』(太田出版,2019年)もあります。

新着図書

書名	著編者	出版者
考える人のメモの技術	下地寛也	ダイヤモンド社
教養として知っておきたい博物館の世界	栗原祐司	誠文堂新光社
宮城の教科書 大人のための地元再発見シリーズ	JTBパブリック	JTBパブリック
日本に住んでる世界のひと	金井真紀	大和書房
メディアリテラシー	坂本旬 山脇岳志	時事通信出版局
東日本大震災伝承施設ガイド るるぶ特別編集	JTBパブリック	復興庁
「おふくろの味」幻想 光文社文庫	湯澤規子	光文社
作ろう！フライドチキンの骨格標本	志賀健司	緑書房
カラスは飼えるか 新潮文庫	松原始	新潮社
「心の病」の脳科学 BLUE BACKS	林(高木)朗子 加藤忠史	講談社
カラー世界パンデミックの記録	マリエル・ウッド	西村書店
かわいい土木見つけ旅	三上美絵	技術評論社
ポチらせる文章術	大橋一慶	ぱる出版
透明なゆりかご 1-9巻	沖田×華	講談社
こころのナース夜野さん 1-6巻	水谷緑	小学館
月の立つ林で	青山美智子	ポプラ社
物語の種	有川ひろ	幻冬舎
君のクイズ	小川哲	朝日新聞出版
鈍色幻視行	恩田陸	集英社
やさしさを忘れぬうちに	川口俊和 著	サンマーク出版
岸辺露伴は倒れない 短編小説集	北國ばらっど	集英社
タイム・オブ・デス、デート・オブ・バース	窪美澄	筑摩書房
それでも旅に出るカフェ	近藤史恵	双葉社
街とその不確かな壁	村上春樹	新潮社
86—Alter. 1 死神ときどき青春 電撃文庫	安里アサト	KADOKAWA
探偵はもう、死んでいる。 9 MF文庫J	二語十	KADOKAWA

☆ 開館時間
8:55~16:55
☆ 貸出冊数・期間
3冊まで・2週間



本の返却ポスト
売店横にあるので
ご利用ください

図書館だよりは
学校HPに
掲載しています

